

平成18年度 学校自己評価表（定時制課程）（計画段階）

福岡県立ひびき高等学校長

印

20

学校運営方針		学校運営計画（4月）		評価（月）	
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		
本年度で開校4年目、完成年度を迎えるにあたり、校務運営委員会における分掌組織の改編を行い、より効率的・組織的な運営を図るとともに、生徒の単位修得率の向上にむけ、情報の共有化と魅力ある授業の創造等とおして、更なる活性化を目指す。		新・運営委員会（三部・九課制）の設置に伴い、業務の効率化・組織化を図る。 生徒の単位修得率の向上 教育活動の活性化・特色化及び授業内容の充実 高大等連携事業、マスター・ティーチャー・プログラム等の活用 「自己選択・自己判断・自己決定」逞しく生きる力の醸成を図る。	三部（教務・生徒・がたんす）の連携と、各部所属の九課の業務内容の明確化を図り、より効率的・組織的な校務の運営を目指す。 面接週間等の活用により、生徒情報の収集と共有化を図る。 90分授業の充実のため、授業研究や職員研修、生徒による授業評価等を活用する。 上級学校や企業との連携を密にしがたんす指導の充実に努める。 生徒会活動の充実と、学校行事の活性化を図る。 学校行事の活性化をとおして、生徒の達成感や帰属意識の高揚を図る。 教育環境の整備、ボランティア活動、キャリアがたんす、マナーアップひびき等の充実に努める。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（月）	次年度の主な課題	
教務部	教務部	進路希望を実現する授業の確立と、魅力的なHR・総学の教育内容の構築、並びに「科目履修制度」の導入を図る。	教職員の学習指導力を向上させ、魅力ある授業の確立によって、単位修得率70%以上を達成する。 HR総学企画運営委員会において、進路学習を中心とした教育内容を構築する。 他校における「科目履修制度」の成果と課題を分析し、19年度からの実施を実現させる。		
	企画・庶務課	各行事の円滑な実施のために、職員間の連絡調整及び生徒や保護者等への連絡に努める。	生徒に確実な連絡をするために、情報ディスプレイ等の適切な活用を行う。 新校舎移転に関する業務が円滑に行われるよう努める。 企画・庶務通信を年15回発行する。		
	情報システム課	校内外ネットワーク及びコンピュータ環境の整備、充実に努める。支援システムデータの活用を図る。	年間4回の出席データ統計を行い、状況分析を活用して、出席率の向上を目指す。 技能審査高卒認定をはじめとする教務処理の手順を確立させ、作業効率の向上を目指す。 情報機器の備品管理の徹底を図る。		
	研修課	生徒理解を深め、教職員の専門的資質を高めるために、研修の企画案内を行う。	90分授業の充実のため、各教科必ず研究授業を行い、年間合計15回以上実施する。 研究紀要を発刊し、研修の成果を広報する。 充実した教育実習ができるような体制づくりを確立する。		
生徒部	生徒部	すべての教育活動をとおし、心豊かにして逞しく生きる力を育て、自主性と自己責任力の伸長を図る。	学校行事の充実に努め、魅力ある学校作りを推進し、生徒募集の一翼を担う。 「マナーアップひびき」の活動を充実させ、学校全体で地域に根ざした学校を目指す。 毎月1回、生徒情報交換会を開くなど、教育相談体制の充実に努める。		
	生徒指導課	学校行事を充実させ、意欲的な参加をとおして、自主的・自立的な行動ができる生徒の育成を目指す。	部活動の勧誘を積極的に行い、呼びかけを工夫するなどして加入率25%以上を目指す。 IDカード着用率100%を目標に掲げた指導等とおして基本的生活習慣の育成を目指す。 スクールカウンセラーを中心とした教育相談活動の充実に努め、いじめや中退防止に努める。		
	広報課	本校の教育システム・教育活動の特色を多様な手段で発信し、本校の認知度の向上を図る。	学校ホームページとおして、本校の特色ある教育活動を発信する。 学校案内・ポスターを作成し、受検者に対して本校の魅力をアピールする。 新聞社や放送局に対して、年間3回以上プレスリリースを行う。		
	保健課	教育環境の美化及び整美充実に努め、職員・生徒の健康増進のための支援を行う。	保健だよりを発行し、生徒・保護者の健康管理・環境美化への意識を向上させる。 「性と心の健康相談」・カウンセリングを定期的実施し、生徒支援の一助とする。 諸検診の円滑な運営を心がけ、生徒の健康管理のため、受診率100%を目標にする。		
がたんす部	がたんす部	キャリア教育の視点に立ち、個々の生徒に対するキャリアガイダンスを支援する。	受講ガイダンスを通じて生徒一人一人の進路意欲の涵養を図る。 進路講演週間、近未来ガイダンスへの積極的参加を促し昨年比120%の参加率を目指す。 高大等連携事業を有効活用し、参加希望生徒へのガイダンス体制を構築する。		
	進路指導課	進路情報の充実に努め、生徒の多様な進路希望に応える進路指導体制を構築する。	各年次における進路指導体制を点検整理し、本校としての進路指導体制を構築する。 卒業予定生対象の「面接セミナー」を実施するとともに、マナー教育の充実に努める。 生徒の進路希望に応じた指導を徹底し、生徒の進路希望の80%の実現を目指す。		
	修学課	生徒個別の情報収集・分析に努め、生徒個々の修学を援助・指導する。	生徒の個別の実態に即した、組織的かつ継続的な援助・指導に取り組む。 校外の各機関との連絡調整を行い、生徒の個々の情報を収集し、生徒把握に活かす。 生徒・保護者・職員間の信頼関係の構築に努め、中途退学者2割削減を目標とする。		
	図書課	広報啓発活動を積極的に行うことや図書館ボランティア生徒の育成を通して読書習慣を身につけさせる。	生徒用小冊子等を活用し書籍情報等を行う広報活動を活発化し生徒に興味を持たせる。 図書館ボランティア生徒の活性化・組織化することで全体の読書指導につなげる。 年間一人当たりの図書貸出数（5.5冊）を0.4%増加させる。		